

平成 29 年度 学校教育計画及び学校評価

I めざす学校像

建学の精神

「奉仕のこころ」

教育目標、めざす生徒像

- 1 知性を身につけ、自主性に富む生徒の育成
- 2 社会奉仕の精神と情操豊かな生徒の育成
- 3 国際化・情報化に対応できる生徒の育成

II 中期的目標

- 1 「当たり前の事を当たり前」毎日の生活を律し、学習環境の整備を進める。
  - ・基本的な生活習慣を確立し、規範意識を高め、授業規律を大切にして学習に臨む。遅刻、欠席を減らし、身だしなみを整える。
  - ・学習環境を整備し、毎日の学習の積み上げができる学習方法を模索、確立する。
 ※生徒向け学校教育自己診断より「昇陽高校は、日頃より日常生活のマナーや社会のルールを守るように取り組んでいますか。」の評価を5%上げる。
- 2 個々の生徒の進路実現に向けて十分な分析と的確な対策を行い、進路実現を達成する。
  - ・生徒への丁寧な個々対応により、進路実現を図る。
  - ・コースごとに将来必要となる資格・検定を積極的に取得させる。
 ※生徒向け学校教育自己診断より「進路指導は生徒1人ひとりの目標達成に役立つように行われていると思いますか。」の評価を5%上げる。  
 ※生徒向け学校教育自己診断より「昇陽高校は、生徒が資格（英検・漢検など）取得できるように、熱心に取り組んでいると思いますか。」の評価を5%上げる。
- 3 学校行事等を充実させ、人権学習を深め、城山学舎の活用や募金活動、クリーン活動などで生徒の情操教育を進める。また、積極的にボランティア活動に参加させる。
  - ※生徒向け学校教育自己診断より「学校行事関係（校外学習、体育大会、文化祭、芸術鑑賞）は満足できるものでした。」が5%上げる。
- 4 教職員は保護者や地域と積極的に関り、また様々な研修により指導力の向上を図る。
  - ※保護者向け学校教育自己診断より「保護者から学校へ気軽に相談できる雰囲気があると思われますか。」の評価を昨年度より上げる。

III 本年度の取組み内容及び自己評価

	今年度の重点目標	具体的な取組み計画・内容	評価指標	自己評価
1 当たり前 の事を 当たり前 に	ア 学習環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活習慣の醸成</li> <li>・遅刻の減少</li> <li>・生徒会による活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ネットトラブル」研修や自転車マナー講習の実施</li> <li>・遅刻、月ごと学年指導</li> <li>・学校教育自己診断「生徒指導関係」5%上げる</li> <li>・生徒会による挨拶運動、クリーン活動、募金活動など社会貢献実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ネットトラブル」マナー講習5月実施</li> <li>・遅刻者、増減なし</li> <li>・学校教育自己診断「生徒指導関係」6.6%上昇。</li> <li>・挨拶運動（通年）クリーン活動（通年）募金活動（10月）実施</li> </ul>

2 進路実現の達成	ア 基礎学力の充実	・各授業での宿題、小テストの実施		
	イ 資格取得	・英検などの資格取得を進める。	・学校教育自己診断「資格取得関係」5%上げる	・学校教育自己診断「資格取得関係」0.3%減少。
	ウ 進路指導の充実	・各コースの進路実現	・英検合格率を上げる ・難関私立大学合格者数 ・進学、就職未定者数	・英検合格率7%上昇 ・難関私立大学12名減少 ・進路未定者数3%上昇
3 学校行事の充実	ア 学校行事等の充実		・学校教育自己診断「学校行事関係(校外学習、体育大会、文化祭、芸術鑑賞)」5%上げる。 ・強化クラブの全国レベル大会出場	・学校教育自己診断「学校行事関係」11%上昇。
	イ 部活動や情操教育等の充実	・部活動活性化  ・朝読  ・(中学校)城山学舎での野外活動 ・生徒会による活動  ・人権教育の充実	・朝読参加率の上昇  ・野外活動の定期的実施 ・生徒会による挨拶運動、クリーン活動、募金活動など社会貢献実施  ・生徒向け人権研修 ・修学旅行でのビーチクリーンや環境学習の実施	・ソフトテニス部、バレーボール部(中学校)、卓球部など全国大会等に出場 ・朝読参加率(中学校)19%上昇(高校)11%上昇 ・野外活動の月1回実施 ・生徒会による各活動実施。献血、歩きスマホ等キャンペーンにより表彰される。 ・各研修完了
4 保護者や地域との関り、教職員研修	ア 保護者、地域との関り	・保護者懇談による情報共有  ・地域行事への積極的参加	・保護者向け学校教育自己診断「気軽に相談できる」評価を上げる。 ・各種表彰	・「気軽に相談できる」評価0.5%上昇  ・大阪府警より「STOP自転車盗チャレンジ努力賞」「善行少年表彰」
	イ 教職員研修	・各種研修参加	・人権研修(新任対象、フィールドワーク、特別支援など)	・人権研修完了

平成29年度 昇陽中学校・高等学校 学校関係者評価

平成30年9月8日(土)15時～ 「外部評価委員会」開催

「外部評価委員会」：保護者会会長、地域代表2名(中学校校長、公共施設代表)、教育関係者2名(大学教授、教育雑誌編集長)

学校教育自己診断などの結果	外部評価委員会からの意見
<p>・生徒の学校教育自己診断から 「その教育方針を日々の活動に生かしている」48.5% 「取組みが、あなたの成長に効果的である」52.7%と低位である。学校の教育方針が生徒に行きわたっていないように思われる。ただ、学校行事や体育大会に関する自己評価は昨年度より大きく上昇している。さらに、学校に対して前向きに取り組めるように進めたい。</p>	<p>外部評価委員会の意見(平成30年9月8日)</p> <p>・この10年間で生徒の状況はかなり良くなっている。生徒が卒業して良かった、保護者が行かせて良かったと思える学校づくりをお願いしたい。</p> <p>・生徒の自己診断では大体6割が良かったとあまり特色がつかめない。コースごとに知れたら良いのではないかな。</p> <p>・アンケート形式を「学校は…」というものであるが、「あな</p>

<p>「生徒が資格（英検・漢検など）取得できるように、熱心に取り組んでくれている」66%であった。さらに資格や検定への取組みを充実したい。</p> <p>・保護者の学校教育自己診断から 「全般的に満足しているか」が80%ほどで、さらに上げる必要があるが、生徒と比較すると概ね肯定的である。「保護者から学校へ、気軽に相談できる雰囲気がある」79%であった。さらに、保護者との連携を強めたい。</p> <p>・教職員の学校教育自己診断から「建学の精神が浸透しているか」53.1%「学校に誇りを持っている」52%と低位である。教職員が自信をもてる環境づくりが必要である。</p> <p>「年間を通じた教育計画を教科ごとに立てている」94%「カウンセリングマインドを取り入れた支援体制がある」100%生徒と向き合う体制はできている。</p>	<p>たは…」という問いがあってもいいのではないか。</p> <p>・教職員に関しては、直近の5年間に絞った中期目標、ボトムアップも使いながら一丸となって進むような雰囲気が醸成できると良いと思う。</p> <p>・コースが多い事も魅力なので、コースの特徴をもっと前面に出して発揮できたらと思う。</p> <p>学校から</p> <p>・生徒の状況は良くなっているかもしれないが、学校方針の浸透、学校に対する肯定感を上げる必要がある。生徒の期待への満足度を上げる必要もある。学校行事への評価、生徒と教職員の関係は概ね良好であると思われる。保護者の評価は生徒より高く、教職員との連携も概ね良好と思われる。教職員に対しては、若い教員が多いので研修を重ね、情報共有と意見交換をする中で自信をもって取組めるようにしたい。また、人権関係の研修や地震・津波などへの防災教育を高め、安全で安心の教育環境を作っていきたい。</p>
--	--